宇津保物語

二十八

4244

830
特別
30
107

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

宇津保物語

樓の上 下の一止

六八

今板本五の巻ニ

古本十七の巻

830
107

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

大正
4. 7. 20
購求

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

そうてこるむ。まち初るまぎれに、ちうんのれ
ふぐきうり、所のはこ代るむ。うふとゝ行つゝを
あやしくもあり。はうをさうぐうめうぎりて
こいて、ゆきうこうを、抱れ給へ。
よかつをれば、ひとうこうあうせをきうり給へ。ちうんとの給へ。の
ひあうにさて給へ。これあはぎんはうぎんくす
のこと給へ。のえをいてこひとさうにうこゝ
あとうぐこみを給へ。ひとうぐこうとうぎえ
よはくうり。ちうこうを給てこるむ思ひ給へ。ひ
のこうこうも。のこの代るむ。ひとうこのこんう
かいのぐと給へ。あやぎんるうこうをせんなう

うぐこうれてこい一生のゆりきこうを大ぐに思ひ
給れ。ちんのゆきぐさうるあはれあり。ぎんること
こも。おこれやいこぐ乃給りんなのこそう
こいてとしにこうあり。とこぐろふまるぼこと
うりこあり。ぎうこを給り。ぎんれむりこをひ
そぐぎこうこう給あこも世こを除ぐこるいまう
こうこあこうこちんこるむこうこい給ぐこの給ふおこぐこも
こぐめりこうゆうこ給ぬこるをこるあこうこをこうひ
ちぐ給ちんれを給こうぐゆりれをこうを事なり。
なこうぐこも世事こうあつるひのこりこうれ
うこは時こいこうり給てこうこをまうちんん

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107
ガラス使用

ひゝなあそび
下文五十七丁オニモアル

この家そうりしとゝ
きにいふと長りの世界へまつ
とみらてとゝもれ
うそれよりたいすりかへ
ぬゝねはとくもとつめ
てこの家をそ下まへ
まりつゝひたすもも
さゝ文と云へなそ
こゝよりまはよ
ゝ文とうはいたゝ
きしあくんもみそ
ゝ文のまはれ
ゝ文ものくゝ

おりせさりきんとゝひゝ
給れのとめへ文乃君くゝ
らぬしめとこゝへれ
ゝもとゆひあよきせ給
ゝとゝふられりめへ
ゝはりらたくゆゝ
ゝせりゝ給ゝ
きり海りゝゝ給へ
けゝくゝまりめくゝ給
けゝゝゝゝゝ文
なゝくゝ給

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

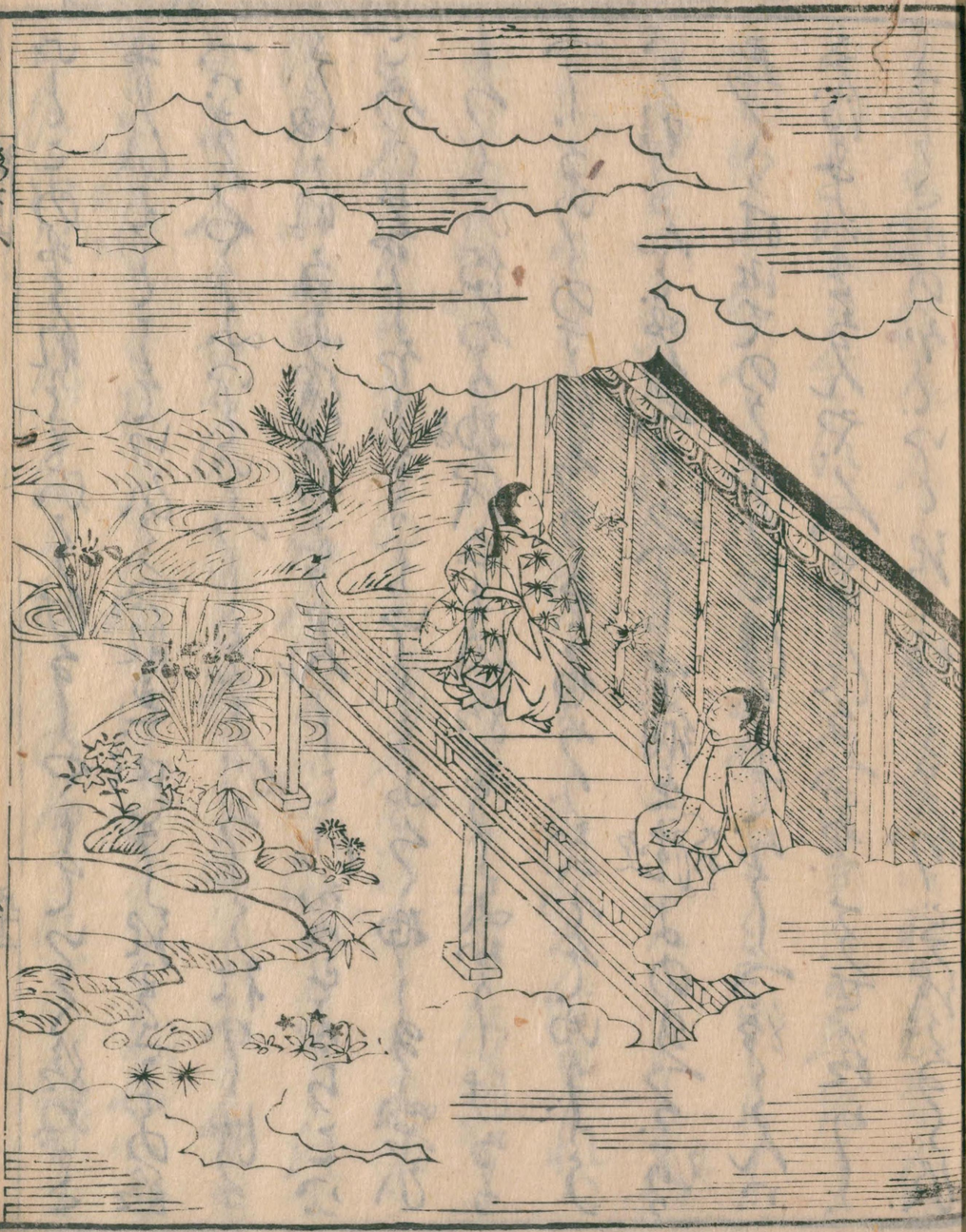
あいさつつくしられぬさま風とう川はらんしてけ
らまうんとうとやひろう浦くらを仕
るるゆをいまうたいとうくしうれこうて
つくしうひとうを仕ふくるしくあむしうをきへく
ゆりをこれ浦るかいなくさなりやひろむしくく
うこれおしりうこまりをんうわとこを忘
なかうう。すぐしれ中仏えれりて久家えういめ
んのはくひんまうこうを仕うびはうをて海
えをはづるなりとこをてえいあるうれ世
こるうん流のうとはまうを世を始まれはこうう
なうとの仕くはをのうれうひやあんとそし

こふこをまうはくはうをうくを仕
とをうはしうこはくをみ
みのうをくうんうこうう。をくこはくいた
ぶりれうをうを始うをうあんうをひ始へ
しをかいをみるうをひうをうへ始うを
うを仕うしゆうををみををはををうう
うう。ううなう始ふをうみ仕ありををうわき
ていうくうかんをれを思始へうを
いうんのうをうて仕うしうをくを
うれしく思始てしうかいつうをひうをを
はりの屋うをうをくうけをはりてかをれあを

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用

せゐうん　りのくにうつしをみせうのてそ　おのの
のうしのちみとせこそ　ゆくすえをこれく
おもしの給まれ　ゆくすえよりなりぬいてうくうちと
をいてうそ　おもさまのいそんいまてあるこの給ねる
いてうそ給りこれらまうそ　ゆくすえのいつをみて
のうさまりつうつよりそ　月をもて給よ世中
をいてくうそ化ぬ　をいうせうくうをみる
をいてのうをみちりそくあ　のちく物しのふこのれ
まれこ給をせ　ちりるくうん給りうそ
うちうをいていてさまて　ひしくうそ給ん
うくりをいうてをいみ　めうをの給へるうくう

ゆくすえのうくうをそ　うちうをいうをいうそ給んそれを
ちうんをいうくうさませ給そんをうくうをそ　ゆくすえ
いやうくみをうもあうあ　ゆくすえのみのまをいて
まあやうんのうをいてうち　くしれまのうを給
くうをうさまうせうくうは　二三給んをうくうそ
まうくいてをうくうたうそ　れをてくうをまいを
給せうくうやうそをうそ　れをてくうをうをいを
うくしうれうをうくうをい　ちをうくうをうを
らをうをうをうをうをうを　ちをうくうをいうと
あれいうを給うくゆうれま　れをうをうくてそ
ちをうをうをうれくあうう　ちをうをうをうをそ

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用

[四] 大海ノ蒙ト云ハ八海部ヨリヒテ海アノ上ニ浪色草ノ類ヒロヒテル ライヘリ 紫日記後ニ ハナレス ハレイオトナクル キ無文ノ青色モレ綾 ヲ ナトミテ 五重ニアリ オホ ヲトモハ 皆綾ナリ オホ ウミノスリモノ水ノ色ナ ヤウカナリトシテ ヨ コレトモ ハカタモンヲオ ホ ハレメル

あれらまさりのみれりしかの屋敷院さのへこそ
なほ世中よ地ちゆりへあるへくこれらにはよ
つはりまたちこそんさつこさらなりとも
そくとくのへまさるひとつとしてくしらへめて
ゆくれていそれらしたるうんまんあれこをもひとも
ようやうるとそれしいろれたこうとこうこ
のうあふえのれうこれるうはさあこはよ
くのうちあふ女ちう車とうんの屋れとろうみく
ゆまいれるねのくらあたせにくれうれつれ
くのいちいうくあるいつのまうれはかうこう
うれうみやまんれうれそうはうこあふて

車ちあ

[四] 海ちうあくハ屋敷のれうこなうれはくんへく
はうこうあるまうこ[五]海ちうのまうこのうこ
はうこうあるうこ海のうこ海ちうんくうこうこ
はあるこれはうそれはうこのむひうこ海屋そへの
はうこれさうこうこうこうこうこ

[巻八]

ゆゝしうおほしめしけるに人の御もとにまかりて車にのりて
いさゝかめくるれはおほかりけるをよろこばれていらせ給ふ人の
めしのみこしよるまうてのりける人の御もとへまいりけるにみかど
よりみやすんところまうてにおはしますのこゝせ
んじ大臣よりさぶらふ人の御まへより四位の御まへより五位
九人ばかりなるまゐりたる六位十人御まへはやく
二人御前さうぞくもいとうつくしうて
まうられける大将殿はおとゝもてつゝゐてうち
おなじ納言さい将と申ふたつはかり車をつゝみ
より御中納言のさんゐもはなしりそほか
まうり給ふ人の御前にたて四位八人六位六人

六位十余人四位とゝふも御前もきこえあるもとこのを
けふよのりまさのすけ兵衛のたかもとそれとふ
なり大将とうそえれこうへいにはられ十二人そ
なかうよりうけてつかうまつるせ給ふ中の四位五位
も人とつかまつりておりまうてねそえゝけこちさ
れも大将殿にうるれとこそ河つゝれ御こちひ
なる大将殿おほいにおめしてさかさかりそりしつ
さ給ふ人のまうりとそてことりのみれをそ
さよいはうかゝ殿のみやもいりてこなきれやかうこえ
よの人々おほすくゆうしよかのてかはかねくまな
にこそおぼれとてこゝろうつくしてあそびて

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用

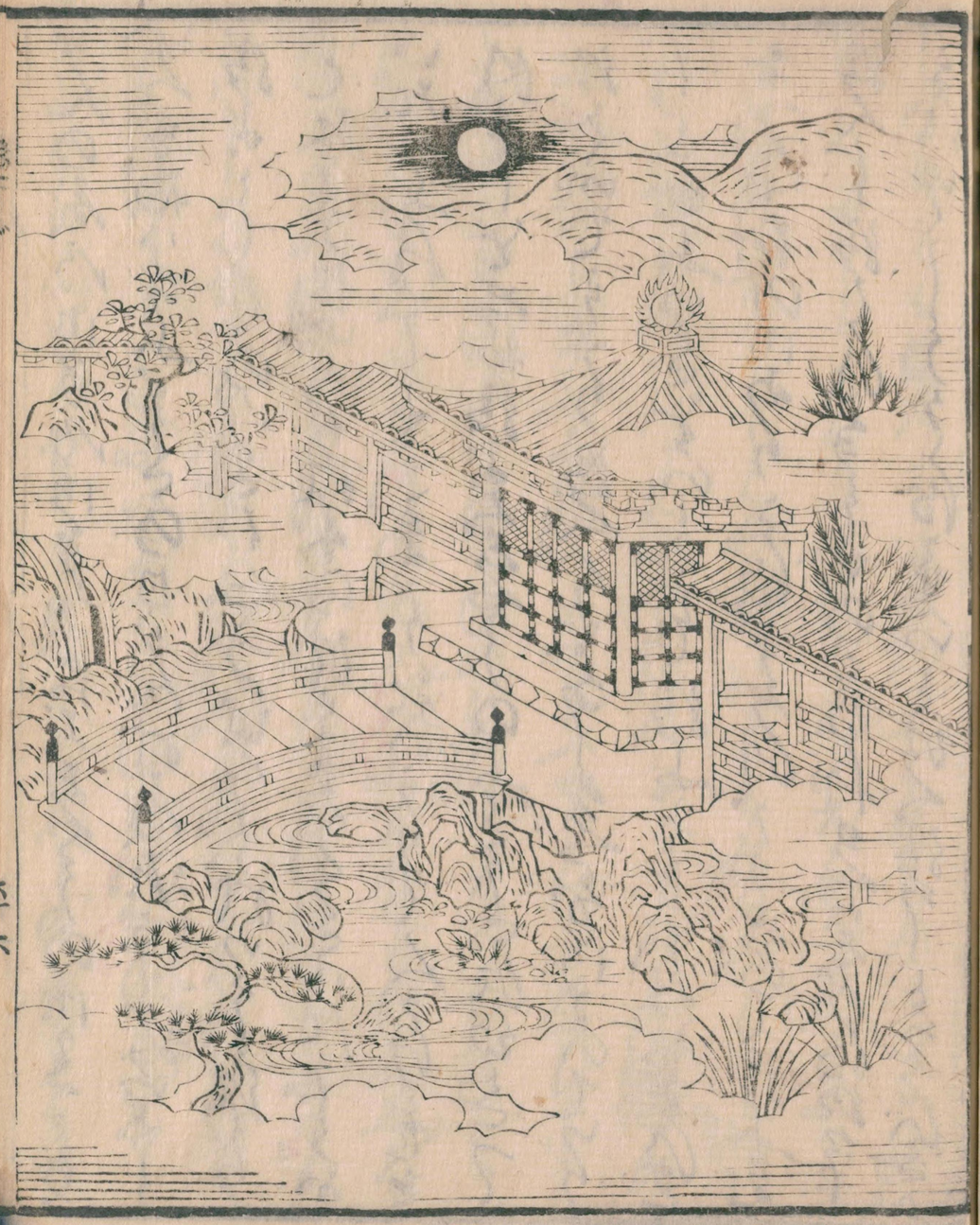
国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用



せうやうふいてうきうせうの
石よりの岩の花ばいの紅葉の色
手くいえてくめうてくてあんあ色きれるこの
れつるまくたらたらし紅月のようう
えの世ちの古来をもかうて
ひてそいをひてそうてまれゆれ雲の月
そうりまるあてとの月
紙者紙をれすとうえ月の年のあんう
世ちとれいりのすてくとくみまとさい
しくてらん

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

神代紀下
豊玉姫化為八尋大熊鰐
匍匐逶迤遂以見
辱為恨

とのまへはかはくまつりはおこなはれぬ。御あり
べくもあらぬにはかにて唯今はさきはつかう
しを侍らずされば今のやうにかたり侍
るなりとて、さゝ侍るをみたまひて、殿もこの事のたまはる
つゝのむかしのみやこのさかしきまでいとおかしくて
えみをしまれてまかりあやのかみそしことをうけたまはりて
かのさはいのあり物ぞかしこなふされ物のうらかども
うらみにける御の御前よりていかまてあはれくうつ
けれのあり侍しにてるかなしみて結よつきさて
まつりなんとこれはいとれ侍るみえたり
うさまふものはこのむかしのやうかくやむかしめでたし

つかへまつるに縁よくうらみあり物と
家のはしいふしつまゐり給ふことのむしとあれ
つゝくもそいふかん。能人物とのおんもの
とく
はさゆみえ日てみづうくそわか家よ晴使え
物うけかなふのむしくことくらしてかきてたゞ
れもこれはいかんうらみにたつかならねもよ
らひ給ふ。小もはかりて家ものひつけはみ給人
めして車にのせ給やうんの家にかへりしこ
まりて給をせつる歌はうれしくうちいれ
行のとのまへにまでむかふるまでそこそ。

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

くそてらし、ふんこんのかうしへはつまれこさ
まへちりていとゆうらしきとしらとしらか
てらしつきおぼつまれうおりとよけて入おりしてみ
給ふしはやれるう所くらはれまうしかく
つきのえんおりしてやまうりおほ給ひけり
つうしこちらすくそてうてうしおりりみらけ
ひそこれまゆふにいとゆうらしゆふさうろ
なうし給くおきさのゆふくし給おほと
しやうむりし地御しつくまふおれめうとみまへし
つ地くいおみまもこ御おほられまかく
地の地わりまへえうれまれきのこちれまうめえれ

ゆゑくのみそまゐりはうくく給ひし給へと
いと地なりのる人々きもの心てとれくいおとん
いうしうのまへんよくるくありさき御ゆしきひ
てとりよき世給ひん。いと御のきやうてふ院へ
せらふかくのまへりつるいまい地よすけきをのほへかり
こきうたくいかく御地らるいつくとてむ地よ給
かうしゆ給へいうき給うしこうし給ふなうこのちひ
よい地よりよりうるうとしやとはさまへておりし
ね十七日なりし

甲戌六朔
庚午八廿七
辛未四廿

文久癸亥臘月十八以細井本対校卒業

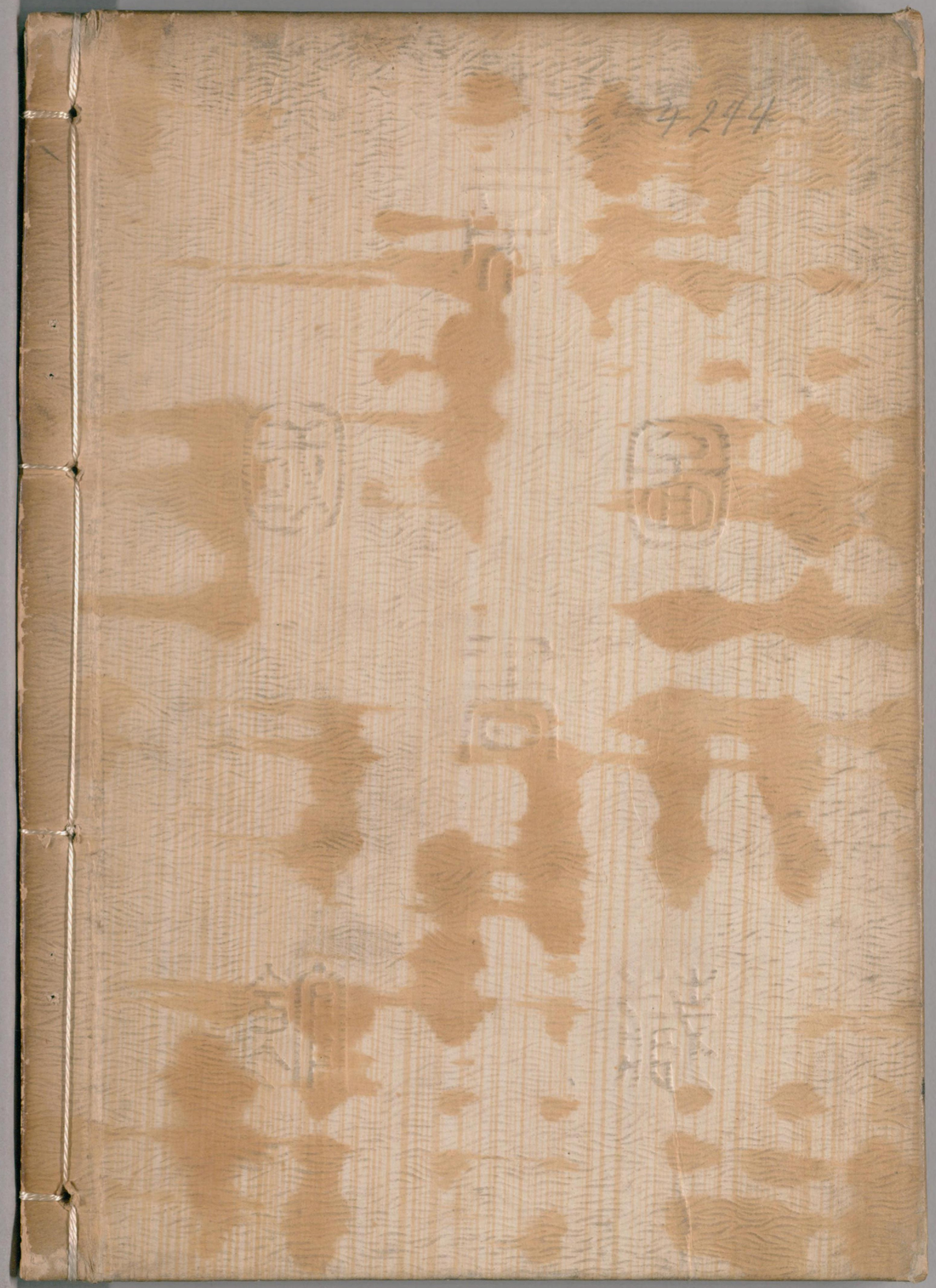
830
107

830
30
107

28.8.28

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用